

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3316 URL http://www.tcs-net.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 真一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 赤木 正人 (TEL) 03-3280-2711
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,634	14.8	138	28.8	137	27.2	94	28.9
24年3月期第2四半期	4,036	11.1	107	△8.8	108	△9.8	73	△19.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 95百万円(25.2%) 24年3月期第2四半期 76百万円(△16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7,470.29	—
24年3月期第2四半期	5,796.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,605	1,709	47.4
24年3月期	4,091	1,652	40.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,709百万円 24年3月期 1,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3,000.00	3,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,610	2.0	250	3.8	250	3.5	140	4.9	11,111.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	12,600株	24年3月期	12,600株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	一株	24年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	12,600株	24年3月期2Q	12,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
 ・当社は、平成24年11月14日に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要などにより国内需要は持ち直しつつあるものの、長引く円高や欧州諸国の金融不安などによる景気の下振れが懸念され、また中国などの新興国の経済成長の鈍化等により先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属するIT業界におきましては、ITベンダー間の激しい競争によるIT商品の低価格化が進む中、タブレット端末を中心としたハードウェアは堅調な伸びを示しているものの、顧客のIT投資に対する慎重さから予断を許さない状況で推移してまいりました。また、人材派遣業界におきましては、派遣契約の継続契約・新規契約が難しい状況で推移し、企業環境は依然厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「最も安心してITインフラを任せられる企業」を企業ビジョンと定め、顧客価値を創造するため、「顧客を深く理解すること」「最適なIT資源を提供すること」「最新の技術経験を提供すること」「最新の製品を提供していくこと」を行動指針とする営業活動を行ってまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,634百万円(前年同期比598百万円増、14.8%増)、営業利益138百万円(前年同期比30百万円増、28.8%増)、経常利益137百万円(前年同期比29百万円増、27.2%増)、四半期純利益94百万円(前年同期比21百万円増、28.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

① 情報システム関連事業

情報システム関連事業は、パソコンを中心としたハードウェアビジネスが伸張した結果、売上高は3,914百万円(前年同期比574百万円増、17.2%増)となり、セグメント利益(営業利益)は、139百万円(前年同期比36百万円増、35.9%増)となりました。

② 人材派遣事業

人材派遣事業は、派遣契約の継続契約・新規契約が難しい状況で推移する中、派遣スタッフの増加を目指す営業活動を行い、売上高は720百万円(前年同期比23百万円増、3.3%増)となりました。セグメント損益(営業損益)は、厳しい環境の中、派遣スタッフ当たりの売上単価は減少し、1百万円の損失(前年同期は4百万円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ485百万円減少しております。これは、主に受取手形及び売掛金が451百万円減少したことによるものであります。負債については1,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ543百万円減少しております。これは、主に買掛金が568百万円減少したことによるものであります。純資産については1,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加しております。これは、主に四半期純利益の計上が94百万円ありましたが、配当による減少37百万円があったことにより、利益剰余金が56百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、1,154百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は152百万円となりました。これは、主に仕入債務の支払いによる減少が611百万円及び法人税等の支払いによる減少が59百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が136百万円、売掛金の回収等による売上債権の減少が500百万円及びたな卸資産の減少が150百万円あったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は33百万円となりました。これは、主に有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が35百万円あったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は47百万円となりました。これは、主に配当金の支払による支出が37百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間において、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想値と実績値の間に差異が生じております。詳細につきましては、本日公表の「平成25年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成25年3月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,862千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083,694	1,154,293
受取手形及び売掛金	2,011,767	1,560,546
商品	210,631	53,289
仕掛品	2,800	9,548
貯蔵品	337	459
その他	288,798	341,586
貸倒引当金	△269	△220
流動資産合計	3,597,762	3,119,504
固定資産		
有形固定資産	130,101	141,765
無形固定資産		
ソフトウェア	83,285	72,060
その他	12,212	10,775
無形固定資産合計	95,497	82,836
投資その他の資産		
投資有価証券	45,152	47,152
その他	279,097	233,546
貸倒引当金	△56,249	△19,232
投資その他の資産合計	268,000	261,466
固定資産合計	493,599	486,069
資産合計	4,091,362	3,605,574
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,378,863	810,844
未払費用	198,865	178,961
未払法人税等	63,735	43,304
前受金	336,340	385,682
賞与引当金	89,919	95,813
その他	84,133	94,787
流動負債合計	2,151,857	1,609,394
固定負債		
退職給付引当金	245,893	253,507
その他	41,402	32,849
固定負債合計	287,295	286,357
負債合計	2,439,152	1,895,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	334,574	390,900
株主資本合計	1,649,554	1,705,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,654	3,941
その他の包括利益累計額合計	2,654	3,941
純資産合計	1,652,209	1,709,821
負債純資産合計	4,091,362	3,605,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,036,876	4,634,958
売上原価	3,466,163	3,997,829
売上総利益	570,712	637,129
販売費及び一般管理費	463,509	499,078
営業利益	107,203	138,050
営業外収益		
受取利息	192	241
受取配当金	221	248
保険配当金	926	—
貸倒引当金戻入額	254	52
その他	108	161
営業外収益合計	1,703	704
営業外費用		
支払利息	849	1,345
営業外費用合計	849	1,345
経常利益	108,056	137,409
特別損失		
固定資産除却損	728	473
特別損失合計	728	473
税金等調整前四半期純利益	107,328	136,936
法人税、住民税及び事業税	10,099	38,567
法人税等調整額	24,187	4,242
法人税等合計	34,286	42,810
少数株主損益調整前四半期純利益	73,041	94,125
四半期純利益	73,041	94,125

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	73,041	94,125
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3,147	1,287
その他の包括利益合計	3,147	1,287
四半期包括利益	76,189	95,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,189	95,412
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	107,328	136,936
減価償却費	27,250	35,169
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△274	△52
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,463	5,893
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28,277	7,614
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17,840	—
有形固定資産除却損	728	473
受取利息及び受取配当金	△413	△490
支払利息	849	1,345
売上債権の増減額(△は増加)	799,081	500,567
たな卸資産の増減額(△は増加)	109,171	150,472
仕入債務の増減額(△は減少)	△890,864	△611,484
その他	△8,113	△14,143
小計	96,162	212,301
利息及び配当金の受取額	413	490
利息の支払額	△849	△1,345
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△91,450	△59,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,276	152,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,139	△34,186
無形固定資産の取得による支出	△559	△898
敷金の回収による収入	397	—
敷金の差入による支出	△52,644	—
その他	970	1,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,976	△33,728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△31,173	△37,750
割賦債務の返済による支出	△2,020	△6,880
リース債務の返済による支出	△1,549	△3,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,744	△47,861
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△111,444	70,599
現金及び現金同等物の期首残高	557,594	1,083,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	446,150	1,154,293

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,339,672	697,203	4,036,876	—	4,036,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,610	19,300	21,910	△21,910	—
計	3,342,283	716,503	4,058,786	△21,910	4,036,876
セグメント利益	102,601	4,602	107,203	—	107,203

(注) セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差異はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報システム 関連事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,914,453	720,505	4,634,958	—	4,634,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,778	18,440	22,218	△22,218	—
計	3,918,232	738,945	4,657,177	△22,218	4,634,958
セグメント利益又は損失(△)	139,460	△1,060	138,400	△349	138,050

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「情報システム関連事業」のセグメント利益が1,812千円増加し、「人材派遣事業」のセグメント損失が49千円減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。